

広吉組工業株式会社

2023年度 環境経営レポート

(対象期間：2023年 7月～2024年6月)



発行日：2024年8月1日
改定日：2024年10月1日

I. ごあいさつ

広吉組工業株式会社は、平成10年7月3日の設立以来、土木工事業を通して地域社会の発展に尽力してまいりました。全従業員が地球環境の保全の重要性を認識し、環境負荷の低減に努めることにより、美しい国土の維持、人と環境が共存する社会を目指して取り組んでまいります。

環境経営方針

当社は、企業理念である“地球に優しく人に優しく”に基づいて、土木工事、舗装工事、解体工事及び管工事の各事業分野において、地球環境の保全のために、環境負荷の一層の低減を図るべく、全社一丸となって、自主的・積極的に環境への取組を推進します。

1. 環境管理の促進、維持及び継続的改善を誓約します。
2. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
3. 無駄な資源を使わない取組(二酸化炭素排出量や水使用量の削減)を進めます。
4. 廃棄物を減らし使えるものは再利用します。
5. 省エネルギーを心掛け、コストダウンを図ります。
6. 環境負荷の少ない施工を推進します。
7. 環境保全活動に努め、企業イメージアップを図ります。
8. 本方針を全従業員に周知徹底します。

制定日：2019年6月1日

代表取締役社長 吉田重樹

II. 組織の概要

- (1) 名称及び代表者名
広吉組工業株式会社
代表取締役社長 吉田重樹
- (2) 所在地
本 社 〒671-1156 兵庫県姫路市広畑区小坂66-23
大津営業所 〒671-1132 兵庫県姫路市大津区勘兵衛町1-37
資材置き場 〒671-1155 兵庫県姫路市広畑区大町1丁目60-1・60-2
- (3) 環境管理責任者及び担当者の氏名と連絡先
責任者 工事部 上谷智洋 TEL : 079-239-1537
担当者 営業部 吉田達樹 FAX : 079-236-9043
Email : tatsuki.y@hiro-yoshi.co.jp
- (4) 事業内容
土木工事業、管工事業、舗装工事業、解体工事業、とび・土工・コンクリート工事業
許可番号 兵庫県知事 特-2 第458934号 許可年月日 令和3年1月5日
- (5) 事業の規模
設立 1998年 7月 3日
資本金 4千万円
売上高 6.1億円 (2023年度実績)

各事業所の規模

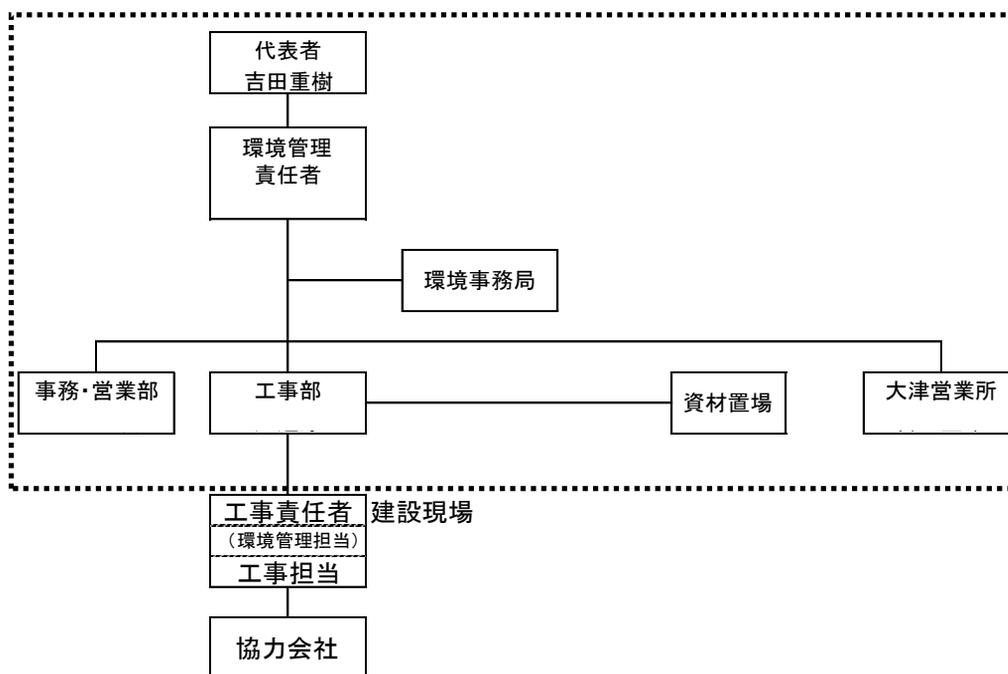
	本社	大津営業所	資材置き場	合計
従業員	2名	13名	無人	15名
延べ床面積	100㎡	200㎡	-	300㎡
敷地面積	132㎡	360㎡	894㎡	1386㎡

- (6) 組織 次頁参照
- (7) 事業年度 7月～翌年6月

III. 認証・登録の対象範囲

登録組織名 : 広吉組工業株式会社
対象事業所 : 本社
大津営業所
資材置き場
活動 : 土木工事業、管工事業、舗装工事業、解体工事業、とび・土工・コンクリート工事業

広吉組工業株式会社 実施体制図及び役割・責任・権限表



	役割・責任・権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 環境管理責任者を任命 経営における課題とチャンス の明確化 環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 環境経営目標・環境経営計画書を承認 代表者による全体の評価と見直し・指示を実施 環境経営レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理 環境関連法規制等の取りまとめ表を承認 環境経営目標・環境経営計画書を確認 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 緊急事態対応手順のテスト、訓練の指導及び総括 環境活動の取組結果を代表者へ報告 環境経営レポートの確認
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐 環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 環境活動の実績集計 環境関連法規制等取りまとめ表の作成、遵守評価の実施 環境教育訓練計画の作成と実施の管理 特定された項目の手順書作成(緊急事態への対応を含む) 環境経営レポートの作成、公開(事務所への備付けと地域事務局への送付)
部門長	<ul style="list-style-type: none"> 自部門における環境経営システムの実施 自部門における環境経営方針の周知 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 特定された項目の運用管理 緊急事態対応手順のテスト、訓練を実施、記録の作成 自部門の問題点の発見、是正・予防処置の実施
工事責任者 (現場代理人)	<ul style="list-style-type: none"> 建設現場における環境経営システムの実施 工事担当者及び協力会社員に対する教育訓練の実施 建設現場の環境経営計画の実施及び達成状況の報告 緊急事態対応訓練の実施、記録の作成 建設現場での問題点の発見、是正・予防処置の実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

IV. 主な環境負荷の実績

項目	単位	2021年度 基準年度	2022年度	2023年度
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	172,293	184,957	179,423
電力使用量	kWh	6,598	6,376	6,201
ガソリン使用量	L	10,428	11,343	10,449
軽油使用量	L	55,879	60,245	58,912
灯油使用量	L	707	450	460
廃棄物排出量	kg	305,390	884,238	701,534
一般廃棄物	kg	30	34	34
産業廃棄物	kg	305,360	884,204	701,500
水使用量	m ³	114	105	101

注1) 都市ガス使用量は微量（年間使用量最大53.1m³）のため省略した。但し、二酸化炭素排出総量には含まれている。

注2) 化学物質は使用していない。

V. 環境経営目標及びその実績

(1) 中期目標

項目		年度	2021年度 基準年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
I. 二酸化炭素 排出量削減	kg-CO ₂		172,293	170,570	168,847	167,124	165,401
	対基準			-1%	-2%	-3%	-4%
電力使用量削減	kWh		6,598	6,532	6,466	6,400	6,334
	kg-CO ₂ 対基準		2,052	2,031	2,011	1,990	1,970
ガソリン 使用量削減	L		10,428	10,324	10,219	10,115	10,011
	kg-CO ₂ 対基準		24,193	23,951	23,709	23,467	23,225
軽油 使用量削減	L		55,879	55,320	54,761	54,203	53,644
	kg-CO ₂ 対基準		144,168	142,726	141,284	139,843	138,401
灯油 使用量削減	L		707	700	693	686	679
	kg-CO ₂ 対基準		1,760	1,743	1,725	1,708	1,690
II. 廃棄物排出量							
一般廃棄物 削減	kg		30.0	29.7	29.4	29.1	28.8
	対基準			-1%	-2%	-3%	-4%
産業廃棄物 適正管理			305,360	適正管理	適正管理	適正管理	適正管理
建設リサイクル率 の向上			93.6	94.6	95.6	96.6	97.6
対基準				+1%	+2%	+3%	+4%
III. 水使用量 削減	m ³		114.0	112.9	111.7	110.6	109.4
	対基準			-1%	-2%	-3%	-4%
IV. 環境に配慮した 施工の推進			30	31	32	33	34
対基準							

注1) 2021年度は目標未達成項目が多かった為、基準年度を2017年から2021年度に変更する

注2) 電力の二酸化炭素排出量への排出係数は、関西電力（株）2021年度実績値の調整後係数 0.311kg-CO₄/kWh を使用。

注3) 化学物質を使用していないため、化学物質に関する目標は設定しない。

注4) 環境に配慮した施工とは、騒音、振動、粉じん、道路の汚れ、水の汚れなどを防止し、廃棄物適正処理・3Rに努め、付近住民の生活に配慮した工事を言う。

(2) 2023年度の実績

項目	年度	2023年度における実績				
		2021年7月 ～2022年6月	(2023年7月～2024年6月)			
		基準値	目標	実績	達成度	評価
I. 二酸化炭素 排出量削減	kg-CO ₂ 対基準	172,293	168,847	179,423	94%	△
電力使用量削減	kWh	6,598	6,466	6,201	104%	○
	kg-CO ₂ 対基準	2,052	2,011	1,929		
			-2%	+4.1%		
ガソリン 使用量削減	L	10,428	10,219	10,449	98%	△
	kg-CO ₂ 対基準	24,193	23,709	24,242		
			-2%	+0.2%		
軽油 使用量削減	L	55,879	54,761	58,912	93%	△
	kg-CO ₂ 対基準	144,168	141,284	151,993		
			-2%	+5.4%		
灯油 使用量削減	L	707	693	460	151%	○
	kg-CO ₂ 対基準	1,760	1,725	1,145		
			-2%	-34.9%		
II. 廃棄物削減						
一般廃棄物 削減	kg 対基準	30.0	29.4	34.0	86%	×
		0	-2%	+13.3%		
産業廃棄物 適正管理	-	305,360	適正管理	701,534	-	○
建設リサイクル率 の向上	% 対基準	93.6	95.6	99.0	104%	○
			+2%	+5.8%		
III. 水使用量 削減	m ³ 対基準	114.0	111.7	101.0	111%	○
			-2%	-11.4%		
IV. 環境に配慮した 施工の推進	件 対基準	30	32	35	109%	○
			+2件	+5件		

注1) 達成度欄にて、削減を目指す場合は、達成度＝目標÷実績×100%、増加を目指す場合は、達成度＝実績÷目標×100%

注2) 評価欄にて、○：達成（100%以上）、△：やや未達成（90%～100%未満）、×：未達成（90%未満）

注3) 2023年度における建設リサイクル率の実績＝再資源化量（694,750kg）／産業廃棄物発生量（701,500kg）99%

※達成出来ない項目が少しある原因は現場数の増加。売り上げ増加に伴う現場数の増加。

VI. 環境経営計画及び取組結果とその評価、次年度の環境経営計画

◎よくできた ○まずまずできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	評価結果と次年度の環境経営計画
二酸化炭素排出量の削減 (目標未達成)		
(下記の通り)	△	(下記の通り)
電力使用量の削減 (目標達成)		
・空調温度の適正化 (冷房28℃暖房20℃)	◎	一部でクールビズも導入したが、もっと多くの工夫が必要であったため、次回に向け対策を考える。
・サーキュレーターを設置	○	頻繁に使用する部屋に設置できた。
・不要照明の消灯	◎	階段での消し忘れなど、不要照明の消灯を徹底する。
・設備の空運転禁止	○	昼休みなど長時間不使用時には対応できたが、今後は、もっとこまめに入・切の操作をする。
ガソリン使用量の削減 (目標未達成)		
・アイドリングストップ	◎	アイドリングストップ機能付車両の購入。
・急加速・急停車の防止	◎	荷物の積載で安全運転が必須な為にできた。
・効率的な移動	○	もっと無駄を省く計画性が必要と思われる。 次年度も、左記取組を継続する。
軽油使用量の削減 (目標やや未達成)		
・重機の空ふかしの禁止	◎	もっと意識をエコドライブを実行する。
・アイドリングストップ	◎	普段より安全運転に注意しているのでまずまずできた。
・空気圧、オイル等の点検	◎	しっかりと守れた。 次年度も、左記取組を継続する。
灯油使用量の削減 (目標達成)		
・ストーブの使用基準の作成	○	灯油の節約を心掛けた。
・室温管理 (20℃を基準)	○	しっかりと守れた。
・部屋開放の禁止	○	コロナ感染対策のため、一部開放していた。 次年度も、状況を見ながら左記取組を継続する。
一般廃棄物の削減 (目標未達成)		
・ミスコピー防止、裏紙使用	○	左記取組により紙くず削減に努めた。
・分別によるリサイクル推進	○	分別の徹底に努めた。
・排出量の把握	○	計量し、正確な一般廃棄物排出量の把握に努めた。 次年度も、左記取組を継続する。
産業廃棄物の適正管理 (目標達成)		
・適正な保管管理 (掲示板・容器設置)	◎	産業廃棄物置場に看板を設置した。
・適正なマニフェスト運用	◎	適正なマニフェスト運用に努めた。
・排出量の把握	◎	正確な産業廃棄物排出量の把握に努めた。 次年度も、左記取組を継続する。
建設リサイクル率の向上 (目標達成)		
・分別によるリサイクル推進	○	分別をしっかりと行いリサイクル率を上げることができた。
・仮設資材の再利用の推進	○	仮設資材を修理することで再利用に努めた。 次年度も、左記取組を継続する。
水使用量の削減 (目標達成)		
・節水の周知徹底	○	節水の徹底をはかり達成。
・節水シールの貼付とポスター掲示	○	簡単なポスター等を掲示した結果、意識が向上した。
・清掃時・手洗い時の節水	○	より多くの工夫ができるようにする。 次年度も、左記取組を継続する。
環境に配慮した施工の推進 (目標達成)		
・工事分野別の技術・ノウハウ	◎	環境に配慮した建設機械を選別し使用している。
・環境配慮施工の推進	◎	可能な限り環境に配慮した施工を実施した。 工事現場の周辺のごみ拾い等、定期的に行っている。 次年度も継続する。

Ⅶ. 環境関連法規等の遵守状況の評価の結果

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

遵守評価日：2024年8月1日

適用される法規制	遵守する事項	評価
廃棄物処理法	保管基準の遵守、収集運搬・処分業者との適正な契約書の締結、マニフェストの交付・保存・確認・交付状況等報告書の提出	遵守
建設リサイクル法	建築物等の分別解体義務、事前届出 特定建設資材廃棄物の再資源化義務	遵守
建設業の再生資源利用省令	再生資源、建設工事副産物の再利用 再生資源利用計画書、実施記録の作成	遵守
大気汚染防止法	特定粉じん排出等作業の実施の届出、作業基準の遵守、石綿事前調	遵守
自動車NOx・PM法	規制対象車両の登録禁止 規制対象車両の指定地域通行禁止	遵守
騒音規制法	特定建設作業の届出、規制基準の遵守	遵守
振動規制法	特定建設作業の届出、規制基準の遵守	遵守
オフロード法	基準に適合した特定特殊自動車の使用	遵守
低騒音・低振動型建設機械の規程	低騒音・低振動型建設機械の使用の促進	遵守
水質汚濁防止法	公共用水域への排出水の排出基準の遵守、特定施設の届出、水質の測定と記録、事故時の届出	遵守
姫路市火災予防条例	火災発生の恐れのある機器の取扱基準の遵守、指定数量未満の危険物・可燃物の貯蔵の届出及び技術基準の遵守、	遵守
フロン排出抑制法	フロン類使用機器の定期点検と記録、漏洩防止、廃棄時の適切な処理、該当機器の事前確認	遵守
自動車リサイクル法	使用済自動車の適正な事業者（引取登録事業者）への引き渡し	遵守

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていることを確認しました。なお、環境法規制等への違反、訴訟、環境上の苦情等も過去3年間ありませんでした。関係当局よりの違反等の指摘はありませんでした。

Ⅷ. 代表者による全体の評価と見直し・指示

当社は次世代へのサステナブルな環境を私たちが作るという意識を社員全員が持ち、エコアクション21に取り組んで来ています。
今年度も現場数の増加により売り上げや現場数が増加した結果、数値の目標を達成出来ない箇所は少しありました。しかしながら、全従業員のエコの意識が高まってきているおかげで、ガソリン、軽油、一般廃棄物等以外の環境目標を達成することができました。
現場増加に伴い移動量や書類の量が増えたためガソリン、軽油、一般廃棄物等の目標は達成出来なかった。
今後もより良い仕事を行う為に全従業員一丸となって引き続き環境対策に取り組んでまいります。環境経営方針、環境経営目標、同計画、実施体制等の変更の有無はありません。

2024年 8月1日
代表取締役 吉田 重樹